



第9回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議（9th GEWEX-OSC）集合写真

第9回GEWEX-OSCが閉幕

第9回全球エネルギー・水循環プロジェクト国際会議が2024年7月12日に閉幕しました。今大会は、学術セッションでの発表、ステークホルダーセッション登壇・参加、協賛ブースの出展、運営スタッフなど、総勢約1300人が参加しました。

閉会式では、Peter van Oevelen 国際GEWEX事務局長、山田朋人国際会議組織委員長が、ステークホルダーセッションなどを通じて研究者と行政が同じ言語で対話できた意義を総括しました。また、本大会に携わった方々への謝意がありました。



その後、Early Career Researcher (ECR) を代表して北海道大学の岡地助教が若手研究者として今後取り組む方向性を表明し、ECRの表彰式が行われました。



最後に札幌実行委員会副委員長を務めた北海道大学の佐藤准教授から Local Organizing Committeeのメンバーが紹介され、前週イベントからのダイジェストムービーを披露し、大会を締めくくりました。



学術セッション11

地球-人間システム結合モデリング

洪水や渇水が人間生活に与える影響や水資源の将来変化などに関する研究が発表されました。（参加者132名）



学術セッション28

より小規模な意思決定のための気候情報の作成

地域防災への実装、意思決定に向けた気候変動情報について議論が交わされました。（参加者78名）

学術セッション22

Kmスケールの地域および全球モデリング-進展、機会、課題

衛星観測データ、気候予測データを用いた極端豪雨の発生頻度評価などが発表されました。（参加者109名）

学術セッション2

地球の水、エネルギー、炭素循環の研究

アジア夏季モンスーンシステムにおける地球水循環関係の研究結果が報告されました。（参加者103名）

学術セッション21

季節内から季節（s2s）を含む大気陸面相互作用と気候の予測可能性

数値モデル、衛星観測データを使った解析や極端事象に関する議論が行われました。（参加者135名）